

東京湾海況情報 23-11

東京湾水質調査結果（平成24年2月）

（平成24年2月22日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 2/13：内湾(わかふさ)、2/9：内房海域(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(2/1-13)、東京湾口海況図(2/1-13)
 モニタリングポスト(2/13：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)はほぼ全域で8~9℃台で、平年より約1℃低くなっています。塩分は全域で平年並み~やや高めになっています。

一方、内房海域の表層水温は沖合水の影響によって上昇し、ほぼ11~15℃台になっています。湊ベタ流し漁場周辺では水温14℃以上、塩分34以上の水塊がみられ、浦賀水道航路入口付近にはやや強い沖合水(水温15℃以上・塩分34.5以上)が流入し、水温15℃以上、塩分34以上の水塊が久里浜沖付近まで及んでいます(図3)。

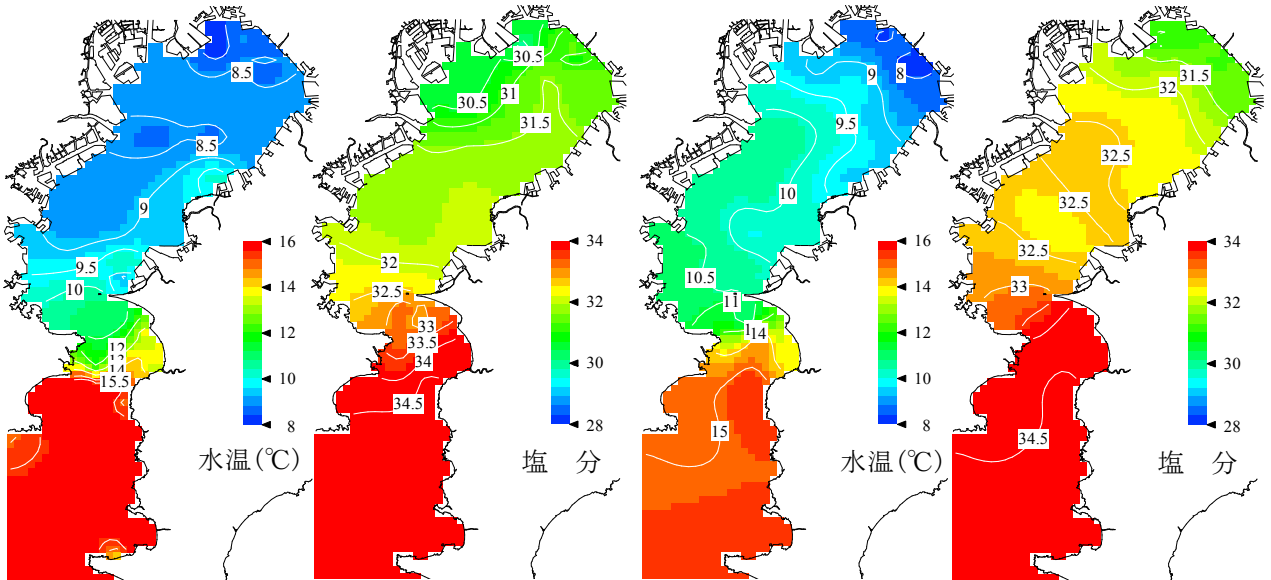


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

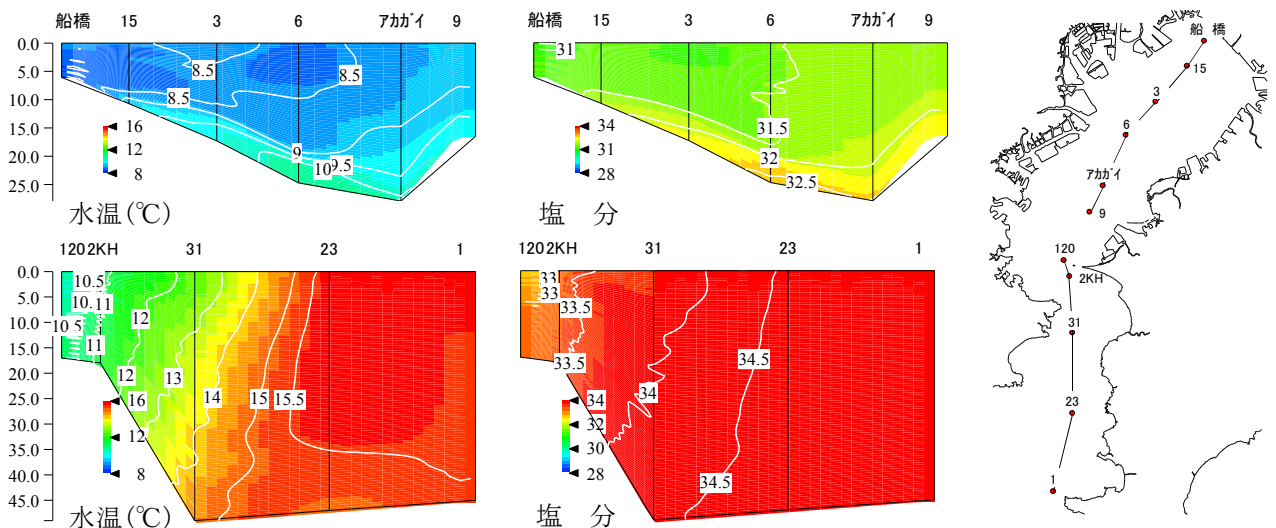


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布

(上：内湾(2/13)、下：内房海域(2/9)、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

1月中旬から、アクアライン以北で発生した赤潮は31日頃に終息し、現在は発生していません。

透明度は内湾北部及び内房北部でやや低いところがみられますが、おおむね5m以上あります。水色は緑～黄緑色で、プランクトンは内湾北部でやや多くみられ、ケイ藻のタラシオシラ (*Thalassiosira* sp.)、ディチウム (*Ditylum brightwellii*) 及びスケルトネマ (*Skeletonema* sp.) がみられています。

また、ノリの色落ち被害をもたらすユーカンピア (*Eucampia zodiacus*) もわずかながらみられています。

※	千葉県	の赤潮の目安は次のとおりです。
色	:	オリーブ～褐色
酸素飽和度	:	150%以上
透明度	:	1.5m以下
pH	:	8.5以上
クロロフィルa	:	50 μ g/L以上

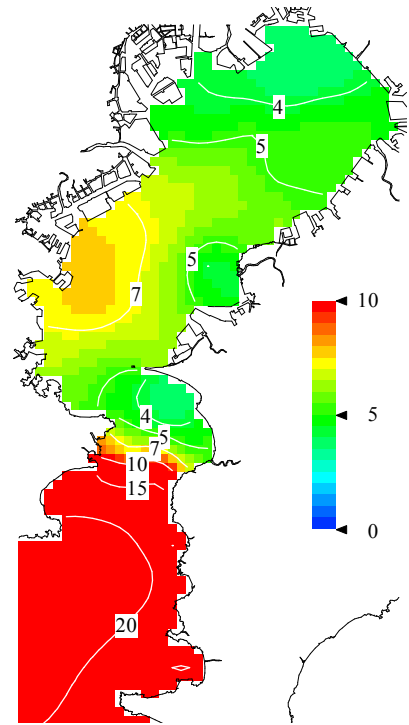


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は最も低いところで5ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません。

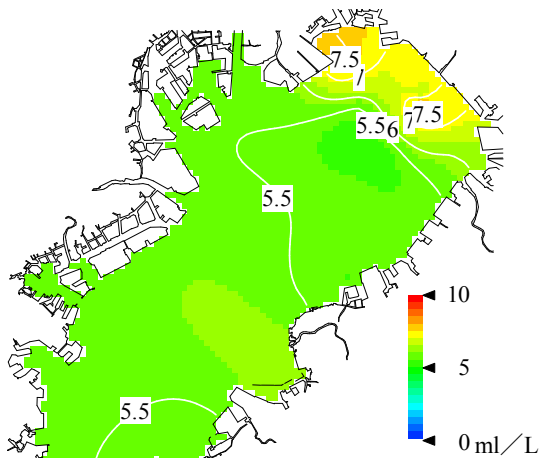


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

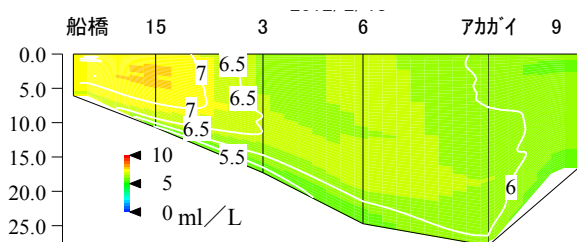


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩濃度(図7)は溶存無機態窒素(DIN)・リン酸態リン(PO₄-P)とも内房海域で平年より少なく、内湾ではほぼ全域でやや多くなっています。

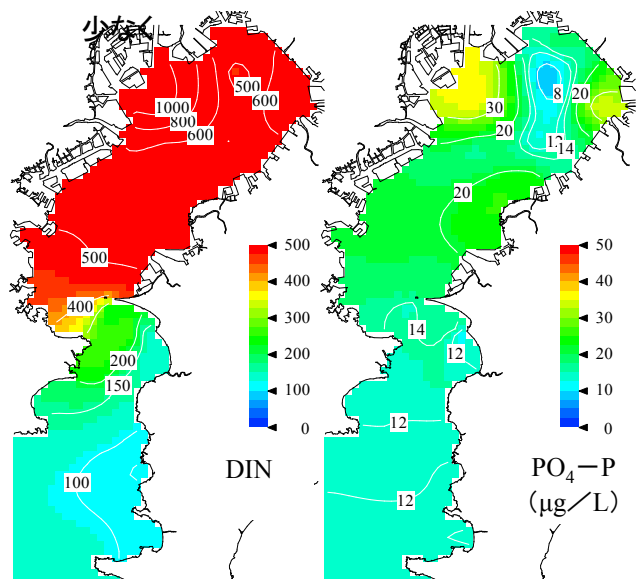


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

【黒潮の状況】

黒潮は依然変動しており、その流軸は13日現在遠州灘沖で蛇行したのち、三宅島～八丈島を通り、房総半島南東岸を東北東方向に流れています(図8)。これに伴い、東京湾口に沖合水が流入しています。

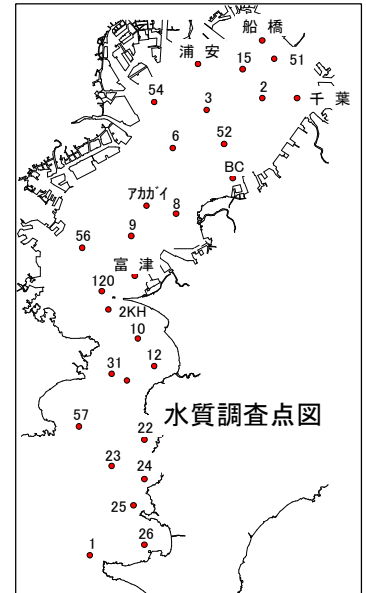
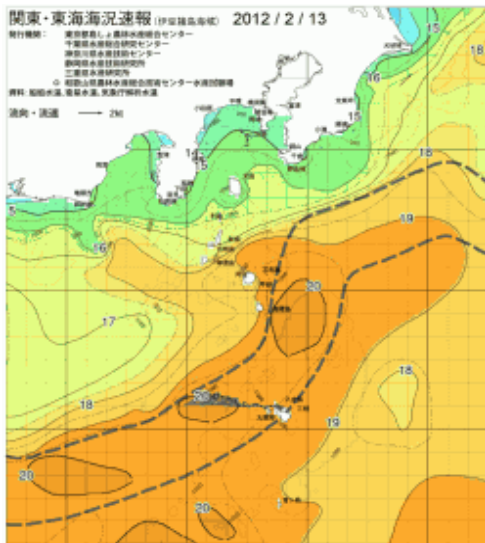


図8 黒潮の動き (平成24年 2月13日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2001~2010年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	8.5 (9.2)	30.91 (30.96)	3.5 (3.1)	8.4 (8.4)	7.0 (7.1)	117 (47)	599 (484)	18 (15)
	st.15	8.4 (9.6)	31.29 (31.14)	3.2 (3.4)	8.4 (8.4)	7.4 (6.2)	59 (46)	469 (496)	5 (12)
	st.3	8.7 (9.4)	31.05 (30.59)	5.0 (3.9)	8.3 (8.4)	6.2 (6.3)	237 (67)	720 (558)	23 (15)
	st.6	8.4 (9.6)	31.46 (31.07)	6.2 (4.3)	8.3 (8.4)	6.4 (5.7)	146 (40)	550 (464)	16 (10)
	st.9	8.9 (10.0)	31.74 (31.49)	6.5 (5.1)	8.3 (8.3)	5.9 (6.3)	150 (44)	517 (416)	19 (12)
	st.BC (盤洲Cブイ)	10.0 (11.0)	31.76 (31.38)	5.8 (3.9)	8.3 (8.4)	5.9 (6.0)	181 (42)	590 (438)	24 (14)
	st.8 (盤洲A南)	9.2 (10.1)	31.96 (31.56)	4.0 (4.0)	8.3 (8.4)	5.7 (5.4)	166 (39)	532 (420)	23 (13)
	富津	9.9 (10.3)	32.04 (31.59)	6.3 (4.6)	8.2 (8.3)	5.7 (6.0)	154 (50)	493 (390)	18 (15)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	10.7 (11.2)	33.11 (32.81)	4.5 (6.5)	8.2 (8.2)		74 (31)	302 (306)	13 (15)
	st.31	12.2 (12.2)	33.63 (33.25)	8.5 (9.7)	8.2 (8.2)		50 (23)	236 (232)	13 (16)
	st.23	15.9 (14.5)	34.60 (34.23)	23.5 (18.5)	8.2 (8.2)		5 (11)	96 (128)	11 (16)
	st.1	15.8 (15.3)	34.56 (34.44)	18.0 (20.6)	8.2 (8.2)		12 (12)	110 (116)	13 (16)
	st.10 (下洲沖)	11.5 (12.2)	33.42 (33.40)	3.5 (8.0)	8.2 (8.2)		53 (24)	248 (255)	14 (16)
	st.12 (湊沖)	14.2 (12.0)	34.42 (33.46)	5.5 (7.4)	8.2 (8.2)		9 (19)	121 (211)	13 (14)
	st.22 (保田沖)	15.8 (14.2)	34.59 (34.16)	15.0 (16.4)	8.2 (8.2)		4 (15)	95 (168)	12 (15)
	st.24 (富山沖)	15.9 (14.8)	34.57 (34.36)	18.0 (17.6)	8.2 (8.2)		11 (16)	102 (150)	12 (16)
st.26 (館山湾内)	16.1 (15.0)	34.57 (34.41)	15.0 (18.2)	8.2 (8.2)		11 (13)	95 (134)	12 (17)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。